

コンクリート圧縮強度試験成績書

2023年10月28日

田川セメント工業所 殿

福岡県みやま市瀬高町河内1938-1
株式会社江崎千秋商店
瀬高生コン工場



工名	事称	自社二次製品									
打込箇所											
呼 び 方	コンクリートの種類による記号		呼び強度		スラブ° 又はスラブ° フロー cm		粗骨材の最大寸法 mm		セメントの種類による記号		
	普通		24		18		20		N		
指 事	定 項										
採 取 月 日	試 験 月 日	材 齢 (日)	番 号	スラブ° (cm)	空 気 量 (%)	温 度 (℃)	最大荷重 (kN)	強 度 (N/mm ²)	平均強度 (N/mm ²)	摘 要	
9/30	10/28	28	1	18.5		28	250	31.8	31.8	標準養生	
			2				251	32.0			
			3				249	31.7			

備考 供試体寸法 φ100×200

レディーミクストコンクリート配合計画書

No.

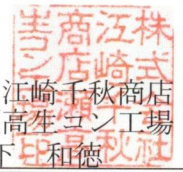
2023年 9月30日

田川セメント工業所 殿

製造会社名：株式会社 江崎千秋商店

瀬高生コン工場

配合計画者名 木下 和徳



工 事 名 称		自社二次製品											
所 在 地		久留米市荒木町今											
納 入 予 定 時 期													
本配合の適用期間 a)		(標準配合)											
コンクリートの打込み箇所													
配 合 の 設 計 条 件													
呼び方	コンクリートの種類による記号		呼び強度		スランプ 又はスランプ フロー cm		粗骨材の最大寸法 mm		セメントの種類 による記号				
	普通		24		18		20		N				
指定事項 (必須)	セメントの種類		呼び方欄に記載		粗骨材の最大寸法		呼び方欄に記載						
	骨材の種類		使用材料欄に記載		アルカリシリカ反応抑制対策の方法 b)		A —						
指定事項 (任意)	骨材のアルカリ反応性による区分		使用材料欄に記載		軽量コンクリートの単位容積質量		— kg/m ³						
	水の区分		使用材料欄に記載		コンクリートの温度		— °C						
	混和材料の種類及び使用量		使用材料及び配合表欄に記載		水セメント比の目標値の上限		— %						
	塩化物含有量		0.30 kg/m ³ 以下		単位水量の目標値の上限		— kg/m ³						
	呼び強度を保証する材齢		— 日		単位水量の目標値の下限又は目標値の上限		— kg/m ³						
	空気量		— %		流動化後のスランプ増大量		— cm						
使 用 材 料 c)													
セメント	生産者名	太平洋セメント株式会社				密度 g/cm ³	3.16	Na ₂ O eq % d)	0.61				
混和材①	製品名	—		種類	—		密度 g/cm ³	—	Na ₂ O eq % e)	—			
混和材②	製品名	—		種類	—		密度 g/cm ³	—	%	—			
骨材	No.	種類	産地 又は 品 名		試験方法 f)	粒の大きさ の範囲 g)	粗粒率又は 実積率 h)	密度 g/cm ³ 絶 乾 表 乾	微粒分量の 範囲% i)				
	①	砕砂	熊本県和水町産		A 化学法	5以下	2.85	2.93	2.96	4.0±1.0			
骨材	②	山砂	熊本県南関町産		A 化学法	—	2.70	2.52	2.56	3.0以下			
材	③	—	—		—	—	—	—	—	—			
粗骨材	①	砕石1505	熊本県和水町産		A 化学法	15～5	—	3.01	3.02	0.5±0.5			
	②	砕石2010	熊本県和水町産		A 化学法	20～10	60.0	3.02	3.03	0.5±0.5			
骨材	③	—	—		—	—	—	—	—	—			
材	④	—	—		—	—	—	—	—	—			
混和剤①	製品名	チューボールEX-50		種類	AE減水剤(標準形 I 種)				Na ₂ O eq % j)	1.9			
混和剤②	製品名	—		種類	—				%	—			
混和剤③	製品名	—		種類	—				%	—			
細骨材の塩化物量 k)		—		%	水の区分 l)		回収水(上澄水)・地下水		目標スラッジ 固形分率 m)		— %		
回収骨材の使用状況 n)		細 骨 材		—		粗 骨 材		—		安定化スラッジ水の使用の有・無			
配 合 表 o) kg/m ³													
セメント	混 和 材		水	細 骨 材			粗 骨 材				混 和 剤 p)		
	①	②		①	②	③	①	②	③	④	①	②	③
342	—	—	181	460	459	—	502	501	—	—	3.42	—	—
水セメント比 q)		53 %		水結合材比 q)		— %		細 骨 材 率		50.2 %			
備考		骨材の質量配合割合 r), 混和剤の使用量については, 断りなしに変更する場合がある。				骨材混合比 (質量混合)		細骨材①:②		50.0:50.0			
								粗骨材①:②		50.0:50.0			

アルカリ総量の計算表 s)

アルカリ総量の計算		判定基準	計算及び判定
コンクリート中のセメントに含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rc Rc = (単位セメント量kg/m ³) × (セメント中の全アルカリ量Na ₂ Oeq:%/100)	①=Rc 2.086	—	Rc = 342 × 0.61/100 = 2.086
コンクリート中の混和材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Ra Ra = (単位混和材量kg/m ³) × (混和材中の全アルカリ量:%/100)	②=Ra	—	
コンクリート中の骨材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rs Rs = (単位骨材量kg/m ³) × 0.53 × (骨材中のNaClの量:%/100)	③=Rs 0.000	—	Rs1 = 460 × 0.53 × /100 = 0.000 Rs2 = 459 × 0.53 × /100 = 0.000 Rs = Rs1 + Rs2 = 0.000
コンクリート中の混和剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rm Rm = (単位混和剤量kg/m ³) × (混和剤中の全アルカリ量:%/100)	④=Rm 0.065	—	Rm = 3.42 × 1.9/100 = 0.065
流動化剤を添加する場合は、 コンクリート中の流動化剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rp t) Rp = (単位流動化剤量kg/m ³) × (流動化剤中の全アルカリ量:%/100)	⑤=Rp	—	
コンクリート中の安定剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rr u)	⑥=Rr	—	
コンクリート中のアルカリ総量(kg/m ³) Rt Rt = ① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥	Rt 2.151	3.0 kg/m ³ 以下	適

注 a) 本配合の適用期間に加え、標準配合、又は修正標準配合の別を記入する。

なお、標準配合とは、レディーミクストコンクリート工場で社内標準の基本にしている配合で、標準状態の運搬時間における標準期の配合として標準化されているものとする。また、修正標準配合とは、出荷時のコンクリート温度が標準配合で想定した温度より大幅に相違する場合、運搬時間が標準状態から大幅に変化する場合、若しくは骨材の品質が所定の範囲を超えて変動する場合に修正を行ったものとする。

b) 表 B.1 の記号欄の記載事項を、そのまま記入する。

c) 配合設計に用いた材料について記入する。

d) ポルトランドセメント及び普通エコセメントを使用した場合に記入する。JIS R 5210の全アルカリの値としては、直近6か月間の試験成績表に示されている、全アルカリの最大値の最も大きい値を記入する。

e) 最新版の混和材試験成績表の値を記入する。

f) アルカリシリカ反応性による区分、及び判定に用いた試験方法を記入する。

g) 細骨材に対しては、砕砂、スラグ骨材、人工軽量骨材、及び再生細骨材Hでは粒の大きさの範囲を記入する。粗骨材に対しては、砕石、スラグ骨材、人工軽量骨材、及び再生粗骨材Hでは粒の大きさの範囲を、砂利では最大寸法を記入する。

h) 細骨材に対しては粗粒率の値を、粗骨材に対しては、実積率又は粗粒率の値を記入する。

i) 砕石、砕砂及びスラグ骨材を使用する場合に記入する。

j) 最新版の混和剤試験成績表の値を記入する。

k) 最新版の骨材試験成績表の値 (NaClとして) を記入する。

l) 回収水のうちスラッジ水を使用する場合は、“回収水 (スラッジ水)” と記入する。

m) スラッジ水を使用する場合に記入する。目標スラッジ固形分率とは、3%以下のスラッジ固形分率の限度を保証できるように定めた値である。また、スラッジ固形分率を1%未満で使用する場合には、“1%未満” と記入する。

n) 回収骨材の使用方法を記入する。回収骨材置換率の上限が5%以下の場合は“A方法”，20%以下の場合は“B方法”と記入する。

o) 人工軽量骨材の場合は、絶対乾燥状態の質量で、その他の骨材の場合は、表面乾燥飽水状態の質量で表す。

p) 空気量調整剤は、記入する必要はない。

q) セメントだけを使用した場合は、水セメント比を記入する。高炉スラグ微粉末、フライアッシュ、シリカフューム又は膨張材を結合材として使用した場合は、水結合材比だけを記入するか、又は水結合材比及び水セメント比の両方を記入する。

r) 全骨材の質量に対する各骨材の計量設定割合をいう。

s) コンクリート中のアルカリ総量を規制する抑制対策の方法を講じる場合にだけ記入する。

t) 購入者から通知を受けたアルカリ量を用いて計算する。

u) 付着モルタルのスラリー化に使用した場合の全アルカリ量は F.6.2 によって求めた値を、安定化スラッジ水の作製に用いた場合の全アルカリ量は G.8.2 によって求めた値を記入する。

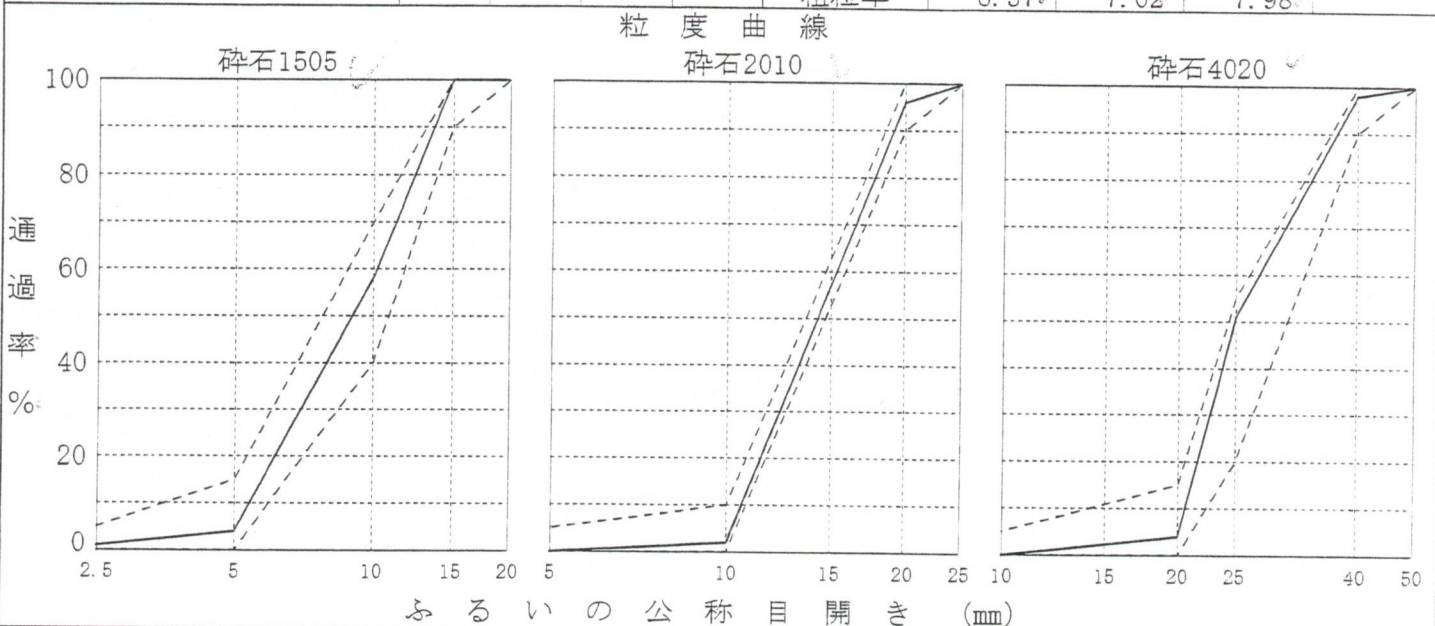
■ 骨材試験成績書 ■

2023年 9月 度

福岡県みやま市瀬高町河内1938-1
株式会社江崎千秋商店
瀬高生コン工場

	産地品名	骨材名称	検印欄	
骨材①	熊本県和水町産	砕石1505	承認	担当
骨材②	熊本県和水町産	砕石2010		
骨材③	熊本県和水町産	砕石4020		
骨材④				

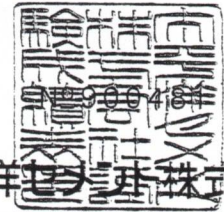
試験項目	骨材①	骨材②	骨材③	骨材④	ふるい分け試験 (通過率%)				
最大寸法(mm)	15	20	40		ふるい(mm)	砕石1505	砕石2010	砕石4020	
表乾密度 (g/cm³)	3.04	3.05	3.07		150				
絶乾密度 (g/cm³)	3.02	3.03	3.06		100				
吸水率 (%)	0.62	0.48	0.39		80				
微粒分量 (%)	0.8	0.5	0.4		60				
粘土塊量 (%)	-	-	-		50				100
粒形判定実積率 (%)	-	59.9	-		40				98
有機不純物 (標準色よりも)	-	-	-		30				
塩化物量 (%)	-	-	-		25		100		51
安定性 (%)	2.3	3.8	0.1		20	100	96		4
密度1.95に浮く粒子 (%)	-	-	-		15	58	2		0
すりへり減量 (%)	10.9	10.8	11.2		10	4	0		
軟らかい石片 (%)	-	-	-		5	1			
					2.5				
					1.2				
					0.6				
					0.3				
					0.15				
					粗粒率	6.37	7.02	7.98	



備考:

安定性、すりへり減量、軟らかい石片の試験値は、1回以上/1年の値である。

セメント試験成績表



2023 年(令和 5 年) 9 月度

太平洋セメント株式会社

種 類 品 質		普通ポルトランドセメント JIS R 5210				早強ポルトランドセメント JIS R 5210				高 炉 セ メ ン ト B 種 JIS R 5211				
		J I S 規格値	試 験 成 績			J I S 規格値	試 験 成 績			J I S 規格値	試 験 成 績			
			平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)	
密 度 g/cm³		—	3.16	—	—	—	3.14	—	—	—	3.04	—	—	
比 表 面 積 cm²/g		2500 以上	3390	56	—	3300 以上	4320	59	—	3000 以上	3870	50	—	
凝 結	水 量 %	—	27.1	—	—	—	29.4	—	—	—	28.4	—	—	
	始 発 h-min	60min以上	2-14	—	(1-45)	45min以上	2-12	—	(1-10)	60min以上	3-18	—	(2-25)	
	終 結 h-min	10h 以下	3-23	—	4-05	10h 以下	2-59	—	3-10	10h 以下	4-55	—	5-40	
安 定 性		バ ッ ト 法	良	良	—	—	良	良	—	—	良	良	—	—
圧 縮 強 さ N/mm²	1 d	—	—	—	—	10.0 以上	25.0	1.46	—	—	—	—	—	
	3 d	12.5 以上	32.1	1.26	—	20.0 以上	47.4	1.48	—	10.0 以上	21.4	1.04	—	
	7 d	22.5 以上	47.6	1.46	—	32.5 以上	58.4	1.50	—	17.5 以上	37.1	1.44	—	
	28d	42.5 以上	62.4	1.71	—	47.5 以上	70.6	1.53	—	42.5 以上	63.8	1.61	—	
水 和 熱 J/g	7 d	—	335	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	28d	—	383	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
化 学 成 分 %	酸化マグネシウム	5.0 以下	1.57	—	1.72	5.0 以下	1.59	—	1.82	6.0 以下	3.69	—	3.88	
	三 酸 化 硫 黄	3.5 以下	2.10	—	2.75	3.5 以下	2.91	—	3.22	4.0 以下	1.97	—	2.28	
	強 熱 減 量	5.0 以下	2.42	—	2.76	5.0 以下	1.24	—	1.33	5.0 以下	1.97	—	2.39	
	全 アル カ リ	0.75 以下	0.56	—	0.62	0.75 以下	0.48	—	0.55	—	—	—	—	
	塩化物イオン	0.035 以下	0.020	—	0.026	0.02 以下	0.008	—	0.015	—	0.014	—	—	

備 考

試験方法はJIS R 5201、JIS R 5202、JIS R 5203及びJIS R 5204による。
28 d 圧縮強さ及び28 d 水和熱は前月度の値を示す。

全アルカリの最大値のうち直近6ヶ月の最大の値
普通ポルトランドセメント 0.62 %
早強ポルトランドセメント 0.57 %

高炉セメントB種
ベースセメントの全アルカリ 0.56 %
高炉スラグの分量 40～45 %

お問い合わせその他のご連絡先

太平洋セメント株式会社 九州支店 技術部

☎812-0018 福岡市博多区住吉 1-2-25

キャナルシティビジネスセンタービル

☎ 092-266-8460

〒 835-0014 (72000)

福岡県みやま市瀬高町河内198

8-1

熊本崎千秋商店 瀬高生コン工場

御中

種 類 AE減水剤 標準形 (I種)✓

商品名 チューポールEX50✓

〒443-8611 愛知県豊田市長瀬2番5号

竹本油脂株式会社

☎(0531)55-1118



1. コンクリートの試験結果

項 目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値
フレッシュコンクリート	減 水 率 %	10以上	13✓	13✓
	ブリーディング量の比 %	70以下	52✓	—
	ブリーディング量の差 cm^3/cm^3	—	—	—
	凝結時間の差 分	始 発	+10✓	+10✓
		終 結	+10✓	+10✓
	経時変化量	スランプ cm	—	—
		空 気 量 %	—	—
硬化コンクリート	圧 縮 強 度 比 %	材 齢 1 日	—	—
		材 齢 2 日 (5℃)	—	—
		材 齢 7 日	110以上	119✓
		材 齢 28 日	110以上	113✓
	長 さ 変 化 比 %	120以下	97✓	—
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60以上	92✓	—

注記1 1 m^3 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験 0.75 kg/m^3 性能確認試験 0.75 kg/m^3

注記2 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2023年 2月の試験結果である。

ただし、圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2022年 9月の試験結果である。

注記3 この表に表示している形式評価試験は、2019年 10月に竹本油脂株式会社で実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン (Cl^-) 量及び全アルカリ量

項 目	JIS A 6204 による 規定 値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の 含 有 量	1 m^3 当たりの 化学混和剤の使用量	試 験 値
塩化物イオン (Cl^-) 量	0.02 kg/m^3 以下	0.00 kg/m^3 ✓	0.00 % ✓	0.75 kg/m^3	0.00 kg/m^3
全アルカリ量	0.30 kg/m^3 以下	0.31 kg/m^3 ✓	2.0 %	0.75 kg/m^3	0.02 kg/m^3

注記1 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2023年 2月の試験結果である。

注記2 この表に表示している形式評価試験は、2019年 10月に竹本油脂株式会社で実施した試験結果である。

3. チューポールEX50 (40%溶液) の品質

化学混和剤中の含有量		密度 (g/cm^3 , 20℃)	
塩化物イオン (Cl^-) 量	全アルカリ量	規 格 値	試 験 値
0.00 % ✓	0.8 %	1.03 ~ 1.05	1.038

注 記 この表に表示している試験値は、2023年 2月の試験結果である。



練混ぜに用いる水質試験報告書

試験番号 NSW235057

2023年06月14日

長崎県生コンクリート工業組合

島原南高技術センター

(全生工組第43号認定共同試験場)

長崎県南島原市赤松町戊638番地4

承認者 白倉 純一

株式会社 江崎千秋商店

1.顧客の名称

瀬高生コン工場

殿

及び住所

福岡県みやま市瀬高町河内1938-1

2.試験方法

JIS A 5308 : 2019 附属書Cによる

全国生コンクリート工業組合連合会の認定試験項目

3.試料の

受領日

2023年05月10日

(依頼者持込)

試験年月日		2023年05月16日 ~ 2023年06月13日	
試料	試験水の種類 (*)	回収水(上澄水)✓	
	採取年月日 (*)	2023年05月09日✓	
	採取場所 (*)	福岡県みやま市瀬高町河内1938-1 瀬高生コン工場内	
懸濁物質の量 (g/L)		—	—
溶解性蒸発残留物の量 (g/L)		—	—
塩化物イオン(Cl ⁻)量 (mg/L)		7.2 ✓	JIS規格値 200mg/L以下 ✓
凝結時間の差	種 類	基準水	回収水(上澄水)
	始 発 時 間	2 時間 45 分	2 時間 40 分
	始 発 時 間 の 差	5 分 ✓	
	終 結 時 間	3 時間 40 分	3 時間 40 分
	終 結 時 間 の 差	0 分 ✓	
	規 格 値	始発は30分以内、終結は60分以内	
圧縮強さの比	7 日	圧 縮 強 さ	51.4 N/mm ² 50.3 N/mm ²
		圧縮強さの比	98 % ✓
	28 日	圧 縮 強 さ	67.1 N/mm ² 65.9 N/mm ²
		圧縮強さの比	98 % ✓
(A法)	規 格 値		材齢7日及び材齢28日で90%以上
備考	試験の実施場所 長崎県生コンクリート工業組合 島原南高技術センター内 試験室		

a. 本報告書は、記載の試料についてのみに関する試験結果です。

b. この報告書のカラーコピー及び一部分のみを複製して使用することを禁じます。

c. (*)は、顧客の提出資料によるものです。



合格



070247JP

発行年月日	2022年10月1日
受付年月日	2022年8月25日
受付番号	B2208053

骨材のアルカリシリカ反応性試験結果報告書

三加和鉱山株式会社 三加和工場 御中

(ISO/IEC17025 認定試験所)

株式会社 三加和
建設コンサルテイング事業部
部長 岩崎 隆

試験結果を以下に報告します(※は依頼者より提供された情報です)。

試験の名称		骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)					
件名		品質管理試験					
依頼者	会社名	三加和鉱山株式会社 三加和工場					
	所在地	熊本県三多郡和水町上十町字山下1202番地の1					
※試験料	種類	砕石・砕砂(はんれい岩) 砕石200E(代表試験料)					
	国産	熊本県三多郡和水町上十町字山下1202番地の1					
	採取場所	熊本県三多郡和水町上十町字山下1202番地の1					
	採取者	叶 伸也					
	採取日	2022年8月15日					
試験実施期間		2022年9月12日 ~ 2022年9月14日					
試験方法		JIS A 1145「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」に従った。 なお、溶解シリカ量は質量法により測定した。					
試験結果	試験項目	測定結果				判定基準 単位:mmol/L	判定
	(mmol/L)	1	2	3	平均		
	アルカリ濃度減少量 (Rc)	20	23	20	21	a) Scが10以上で、Rcが700未満の範囲では、 ScがRc未満となる場合は「無害」、 ScがRc以上となる場合は「無害でない」。	e) 無害 無害 相当 合格
溶解シリカ量 (Sc)	10	10	10	10	b) Scが10未満で、Rcが700未満の場合は「無害」。 c) Rcが700以上の場合は判定しない。		
試験場所		株式会社三多 建設コンサルテイング事業部 試験所グループ 分析試験室 砕石室 骨材試験室 福岡県糟屋郡粕屋町大字伴原2648番地 TEL(092)824-1805 FAX(092)824-1805					
試験担当者		技術管理責任者 高橋 英二 試験担当者 原 匡孝					

(注) 本試験結果報告書の取扱いについて

- 1 本報告書を第三者に開示する場合は、必ず全ページを複製するものとし、一部の複製は行わないで下さい。
- 2 本報告書の試験結果の一部を当該試験所の名義を添付してカタログ等に転載する場合は、事前に本所により当該試験所の承認を得る必要があります。
- 3 本報告書の試験結果は、本報告書に記載の依頼者より提供された試験料について得られたものです。

JISマーク表示制度

認 証 書

認証番号: GB0807279

株式会社江崎千秋商店
福岡県柳川市三橋町柳河 728 番地の1

産業標準化法第30条第1項の規定に基づき、下記の軽工業品が主務省令及び日本産業規格に適合していることを認証します。

記

1. 軽工業品の名称 : レディーミクストコンクリート
2. JISの番号及び名称 : JIS A 5308 レディーミクストコンクリート
3. 認証の区分 : 普通コンクリート・軽量コンクリート
4. 製品の種類又は等級 : 認証番号別による
5. 工場の名義及び所在地 : 株式会社江崎千秋商店 瀬高生コン工場
福岡県みやま市瀬高町河内 1938-1

認証日: 2008年3月12日

再発行日: 2020年2月15日



日本建築試験所
大阪府吹田市西宮1番1号

理事長

井上 一朗



認証書（写し）の続き

改訂: 令和2年 2月 27日